

お世話になった。また、原稿をチェック頂いた亀澤洋氏、ホシザキグリーン財団の林成多博士、名古屋市衛生研究所の上手雄貴博士、福岡県保健環境研究所の中島淳博士、北九州市立自然史・歴史博物館の蓑島悠介博士、大阪市の岡田亮平氏、北海道大学の小川直記氏にもお礼申し上げる。

本研究は、科研費(24510333；研究代表者：小島弘昭)の助成を受けて行われた。

引用文献

- 朝比奈正二郎・梅谷献二, 1955. 伊豆青ヶ島の昆虫. 資源科学研究所年報, (38): 153-156.
- 長谷川澄雄, 1984. I. 青ヶ島の動物(1), 147-164. 青ヶ島村教育委員会・青ヶ島村勢要覧編纂委員会(編) 青ヶ島の生活と文化.
- 亀澤 洋, 2012. 御蔵島よりチャイロチビゲンゴロウを記録. 月刊むし, (502): 12-13.
- 亀澤 洋・野村周平, 2013. 伊豆大島からムナビロツヤドトムシを記録. さやばねニューシリーズ, (9): 29.
- 神谷一男, 1938. 昆虫綱, 鞘翅群-鞘翅目, 龍蝨科. 日本動物分類, 10(8-11): i+8+137pp. 三省堂, 東京.
- Kamiya, K. 1938. A systematic study of the Japanese Dytiscidae. Journal of the Tokyo Nogyo Daigaku, 5: 1-68, 7pls.
- 神谷一男・山本 玄, 1935. 八丈島産甲蟲類目録[豆南諸島産昆虫分布資料 III]. 昆虫, 9(5): 228-231.
- 菊部治紀・須田真一・梅田 孝・林 秀信, 2013. 伊豆諸島のトンボ. Tombo, Fukui, 55: 99-114.
- 川畑喜照, 2007. 伊豆諸島八丈島の甲虫 II. 神奈川虫報, (157): 27-31.
- 川畑喜照, 2009. 伊豆諸島八丈島の甲虫 IV. 神奈川虫報, (167): 1-9.
- 記野直人・長谷川洋, 2001. 日本産クロマメゲンゴロウ類の記録. 甲虫ニュース, (134): 21-25.
- 黒澤良彦, 1978. 神津島上山のゲンゴロウ. 甲虫ニュース, (42): 3.
- 正木十二郎, 1937. 豆南諸島に於ける昆虫相に就いて(第1報). 昆虫, 11(1-2): 80-93.

- 御蔵島の自然と文化博物館, 2014. クロマメゲンゴロウ. (<http://mikura-museum.info/nature/result.php?class=ks&id=ks000031>) 2014年11月12日アクセス
- 森 正人・北山 昭, 2002. 改訂版図説日本のゲンゴロウ. 231pp., 文一総合出版.
- 中根猛彦, 1959. 日本の甲虫(47). 新昆虫, (7/8): 47-52.
- 中根猛彦, 1964. 日本の甲虫(48) げんごろう科(続き). 甲虫学小誌, (1-3): 1-12.
- 中根猛彦, 1978. 伊豆諸島および小笠原諸島に産する若干の興味ある甲虫類について(新種記載を含む). 国立科学博物館専報, (11): 155-161.
- 酒井農園有機日記@伊豆大島, 2014. ハイロゲンゴロウがいました. 2009年7月12日付記事 (http://ssakai-kuroshio.at.webry.info/200907/article_7.html) 2014年11月12日アクセス
- Satô, M., 1963. A new inter-tidal species of the genus *Ochthebius* Leach from Japan. Transaction of Shikoku Entomological Society, 7(4): 129-132.
- 沢田玄正・渡辺泰明, 1959. 八丈小島の昆虫相. 農学集報, 5(2): 47-63.
- 沢田玄正・渡辺泰明, 1969. 御蔵島の昆虫相. 農学集報, 14(1): 1-48.
- 初宿成彦(編), 2011. 大阪市立自然史博物館 所蔵甲虫類目録(1) -ゲンゴロウ科, ゴミムシダマシ科, ナガクチキムシ類-. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第43集. 208pp.
- 東京都八丈ビジターセンター, 2008. こめっこ通信, (88), 4pp.
- 東京都環境局, 2011. 「東京都の保護上重要な野生生物種」(鳥しよ部) ~東京都レッドリスト~ 2011年版 (http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/animals_plants/rare-creature/red_data_book/redlist2011/) 2014年11月12日アクセス
- 渡辺泰明・相馬州彦, 1972. 三宅島の昆虫相. 農学集報, 17(1): 1-58.
- 吉富博之, 2013. 甲虫の幼虫図鑑水生甲虫類(1) 概説. 昆虫と自然, 48(3): 34-36.

(2014年11月17日受領, 2014年12月10日受理)

【短報】神奈川県初記録のオオシラホシハナノミ

オオシラホシハナノミ *Hoshihananomia pirika* Kôno は北海道から九州にかけて分布するが、中部・関東地方ではごく局地的に記録されているにすぎない。神奈川県ではこれまで記録がなかったが、次のとおり採集されたので報告しておく。

1♀, 相模原市緑区名倉葛原(旧津久井郡藤野町), 2. VII. 2014, 服部仁採集(神奈川県立生命の星・地球博物館収蔵予定)。

クリの花から採集されたという。本種は本州ではブナ帯で記録されているが、今回の採集地点は標高 250 m 程度であり、周囲の山塊も標高せいぜい 500 m である。八巻(2014)は本種の東京都高尾山における本年(2014年)の採集例を報告しているが、今回の採集地点から 10 km ほどの距離し

がなく、また同じ低標高地である点で興味深い。

本標本は、逗子市の露木繁雄氏を通じて筆者にもたらされた。採集者の服部仁氏(東京都豊島区)とともに、心からのお礼を申し上げる。

引用文献

- 八巻 卓, 2014. 東京都高尾山でオオシラホシハナノミを採集. 月刊むし, (525): 63.

(高桑正敏 236-0031 横浜市金沢区六浦 3-16-9)